

第5学年音楽科 学習指導案

指導者 大野 奈津子
R6研修センター長期研修

1 題材名 曲をとらえて表現に生かそう

2 本題材の目標

- (1) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、思いや意図に合った表現を工夫するために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付ける。 (知識及び技能)
- (2) リズムや旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 曲にふさわしい表現を工夫する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組み、歌唱表現を工夫することに親しむ。 (学びに向かう力、人間性等)

3 本題材で扱う学習指導要領の内容

第5学年及び第6学年 A表現(1)歌唱

ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。

イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解すること。

ウ 思いや意図に合った表現をするために必要な次の(ア)から(ウ)までの技能を身に付けること。

(イ) 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能

[共通事項]

(1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。

(本題材の学習において、児童の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素：「リズム」、「旋律」)

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①知 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。</p> <p>②技 思いや意図に合った表現を工夫するために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。</p>	<p>思① リズムや旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えている。</p> <p>思② リズムや旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>態 曲にふさわしい表現を工夫する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

5 題材について

(1) 題材観

本題材では、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、曲の特徴を踏まえてどのように歌うかについて思いや意図をもち、自分の思いや意図に合った表現方法で歌い表すことをねらいとしている。教材曲「グッデー グッバイ」は、友達との出会いと別れ、感謝の気持ちを表す歌詞と、ハ長調で付点のリズムが多用された明るい旋律とで構成されている。親しみやすい歌詞と音楽的な特徴が分かりやすい本教材曲は、児童が音楽的な見方・考え方を働かせながら、どのように歌うかについて思いや意図をもって歌唱表現することに適していると考えられる。

(2) 児童観

本校の児童に対して、「歌う時に意識していること」に関する意識調査（令和6年*月*日実施、第5学年*組*人）を行った。「音程」、「声の大きさ」、「声の出し方」などの回答が見られ、歌唱するための技術面への意識が強い傾向が分かった。また、既習教材曲「Believe」について、曲の特徴をどのように捉えているかを調査したところ、音楽的な特徴と歌詞の関わりから捉えている児童は少なく、曲の特徴を捉える際に歌詞の内容に重点を置く傾向があることが分かった。さらに、「Believe」をどのように歌うかについての思いや意図を調査したところ、歌い表したいことを基に曲の特徴にふさわしい歌唱表現の工夫について具体的に述べるできない児童が多かった。これまで、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、曲の特徴にふさわしい表現を工夫するように指導してきた。しかし、音楽的な見方・考え方を十分に働かせながら曲の特徴を捉えることができない児童が多く、歌唱表現を工夫するための多様な歌唱表現について学ぶ機会が不足していたため、どのように歌うかについて思いや意図をもつことにつながらなかったと考える。

(3) 指導観

児童の実態を踏まえ、本題材では曲の特徴にふさわしい歌唱表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつことに重点を置いた指導を行う。第一次は、教材曲「グッデー グッバイ」の特徴を整理する学習活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせながら、自分なりに曲を捉えることができるようにする。第二次は、工夫したいことを考え歌い試す学習活動を通して、歌い表したいことを基に曲の特徴にふさわしい歌唱表現を工夫することができるようにする。各学習活動において、自分なりの考えをもてるようにするために思考を可視化し、対話する場を設定することで新たな気づきを得て曲についての考えを深められるようにする。以上のような学習活動を通して、どのように歌うかについて思いや意図をもつことができるようにする。

次時	学習内容・活動	知・技	思	態	評価及び評価方法等				
1 1	<p>目標：リズムや旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考える。</p> <p>1 題材全体の見通しをもち、本時の課題をつかむ。</p> <p>(1) 教師の範唱を聴き比べ、気付きや疑問を得る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>予想される反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の歌い方が合っていない。 ・曲によって歌い方を変えた方がいい。 ・どの曲でも同じ歌い方でいいのかな。 ・曲をもっと知ることが大切かな。 ・どんな感じの曲かを知るといいのでは。 </div> <p>(2) 題材の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>どんな歌い方をすれば、曲に合った歌い方になるかな。</p> </div> <p>(3) 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>曲の雰囲気はどこから生まれているのかな。</p> </div> <p>2 歌詞と音楽のそれぞれの雰囲気をつかむ。</p> <p>(1) 歌詞と音楽、それぞれから気付いたことや感じたことをワークシートにまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>予想される反応</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> 歌詞 ・さみしい ・悲しい ・お別れ </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> 音楽 ・明るい ・楽しそう ・はずんでいる </td> </tr> </table> </div> <p>(2) 気付いたことや感じたことの、基となっている歌詞や音楽の特徴を考え、結び付ける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>予想される反応</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;"> 歌詞 さみしい ・悲しい お別れ わすれはしない </td> <td style="width: 50%; text-align: center;"> 音楽 グッバイ 明るい・楽しそう はずんでいる 付点のリズム 音が高い </td> </tr> </table> </div> <p>3 「グッデー グッバイ」の範唱を聴いたり歌ったりして、歌詞と音楽が一体となることで生み出される味わいを感じ取る。</p> <p>4 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>曲の雰囲気は、歌詞や音楽の特徴から生まれている。</p> </div> <p>5 本時の振り返りを行い、次時の学習につなげる。</p>	歌詞 ・さみしい ・悲しい ・お別れ	音楽 ・明るい ・楽しそう ・はずんでいる	歌詞 さみしい ・悲しい お別れ わすれはしない	音楽 グッバイ 明るい・楽しそう はずんでいる 付点のリズム 音が高い				<p>・表現方法を工夫していない楽譜に示された旋律通りの範唱を複数曲提示し、疑問や違和感を生じ、題材を通した課題に気付くことができるようにする。</p> <p>○ 態: 曲にふさわしい表現を工夫することに興味をもっているかを見取り、難しい児童には、教師の範唱から興味をもてるように個別に支援する。【発言、観察】</p> <p>・音楽のイメージが、リズムや旋律などの音楽を形づくっている要素と、それらの働きから生み出されていると感じられるようにする。</p> <p>①知: 音楽と歌詞それぞれからどのようなイメージや雰囲気を感じ取っているか見取り、難しい児童には、友達の見意見を参考に考えてもよいと個別に声を掛ける。【記述、観察】</p> <p>◎ 思①: 【記述、観察】</p>
歌詞 ・さみしい ・悲しい ・お別れ	音楽 ・明るい ・楽しそう ・はずんでいる								
歌詞 さみしい ・悲しい お別れ わすれはしない	音楽 グッバイ 明るい・楽しそう はずんでいる 付点のリズム 音が高い								

目標：「グッデー グッバイ」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、自分なりに曲を捉える。

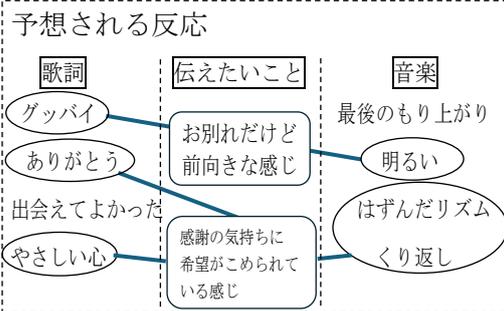
1 前時の学習を振り返り、「グッデー グッバイ」を歌う。

2 本時の課題を確認する。

「グッデー グッバイ」では、歌詞と音楽とでどんなことを伝えたいか考えよう。

3 音楽や歌詞からどのような雰囲気や味わいが生み出されているか考える。

- ・第1時のワークシートから音楽や歌詞について気付いたことや感じ取ったことを書き出す。
- ・音楽と歌詞と伝えたいこととの関わりを考える。



4 音楽と歌詞とで表そうとしている内容について、自分なりに考える。

予想される反応

- ・グッバイというお別れの歌詞と明るい感じのメロディが結び付いて、前向きにお別れする感じを表していると思った。
- ・歌詞の「やさしい心ありがとう」という部分と、はずんだ感じで繰り返しているメロディから、希望をこめて感謝の気持ちを伝えたい感じの曲だと思った。

5 考えをグループで交流する。

6 本時の振り返りを行う。

曲の特徴は歌詞と音楽の両方から生み出されていることが分かった。

・線や囲みを使ってつなげて考えることで、音楽と歌詞との関わり合いから、どのような味わいが生み出されているかを考えられるようにする。

知：【記述、観察】

・友達のと自分の考えの違いから、様々な感じ方や考え方についての気づきを得られるように、共通点や相違点を探しながら対話するように伝える。

目標：自分なりに曲を捉えたことを基に、どのように歌で表現したいか、曲の特徴から考える。

1 前時までを振り返り、今後の見通しをもつ。

曲に合った歌い方をするためには、曲をよく知ることが大切だ。さらに、曲で表している内容について自分なりに考え、表現を工夫しよう。

2 本時の課題を確認する。

「グッデー グッバイ」では、どんなことを歌い表したいかな。

3 歌い表したいことを考える。

(1) 既習曲「Believe」で考え方の流れを確認する。

曲の特徴

- ・やさしい
- ・支える
- ・助け合う
- ・はげます
- ・希望
- ・元気が出る
- ・八分音符と二分音符
- ・最後にくり返し

曲でどんなことを表しているか

友達をはげまし、世界中へ希望を届けたい

どの部分をくふうするか

最初の2段の部分と、5段目から最後までの部分

なぜそう思ったか

歌詞に合わせたように、リズムが変化しているから

どんなふうに表示したいか

最初は友達に話すように、最後は遠くにいる人達に伝わるように歌いたい

歌い表したいこと

最初の2段は隣にいる友達をはげますように、5段目からは、遠くにいる世界中の人に希望を伝えるようにしたい。最後の繰り返し2回目が一番もり上がるように歌いたい。

(2) 「グッデーグッバイ」の歌い表したいことについて考える。

予想される反応

曲でどんなことを表しているか

希望をこめて感謝の気持ちを伝えたい

どの部分をくふうするか

「やさしい心ありがとう」の繰り返しの部分

なぜそう思ったか

繰り返している旋律の、2回目が少し変化しているから

どんなふうに表示したいか

2回目は1回目よりさらに気持ちが伝わるように表現したい

歌い表したいこと

希望をこめて感謝の気持ちを伝えるために、「やさしい心ありがとう」のところを、2回目は1回目よりさらに気持ちが伝わるように表現したい。

4 考えをグループで交流する。

5 本時の振り返りを行い、次時への見通しをもつ。

曲の特徴から歌い表したいことを考えることができた。

- ・曲の特徴から歌い表したいことまでを順序立てて考えられるようにステップチャートを使う。
- ・ステップチャートでは、曲で表していることは何か、曲のどの部分を工夫するか、どのように表現したいかなどを順に書き入れ、歌い表したいことについて考えられるようにする。
- ・既習曲を用いて全体で考え方の流れを確認する。

思②：曲の特徴から、どのように歌うかについて考えをもっているかを見取り、難しい児童には、個別に例を提示するなどして支援する。【発言、観察】

- ・友達の意見を基に気付いたことやさらに考えたことから、自分の考えを修正してもよいことを伝える。

目標：自分なりに曲を捉えたことを基に、表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。

1 2つの「グッデー グッバイ」を聴き、本時の学習の見通しをもつ。

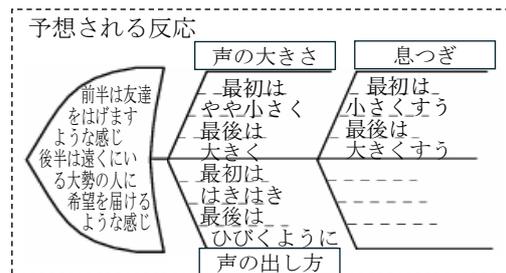
2 本時の課題を確認する。

「グッデー グッバイ」で、曲で表現している内容を歌い表すためには、どのような歌い方の工夫をすればいいかな。

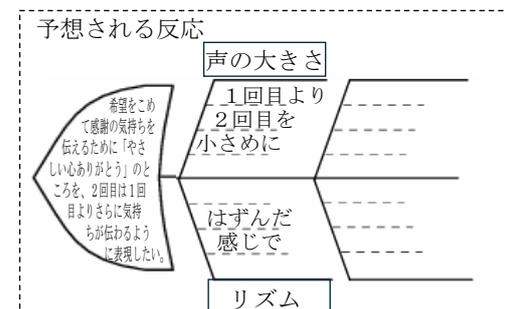
3 いくつかの表現方法の例を聴き、真似して歌ってみて、表現の違いを感じる。

4 歌唱表現の工夫を考える。

(1) 既習曲「Believe」で考え方の流れを確認する。



(2) 「グッデーグッバイ」で歌唱表現の工夫を考える。



5 「グッデーグッバイ」を歌う。

6 本時の振り返りを行い、次時の活動へつなげる。

自分の歌い表したいこと表現するために、声の大きさやリズムの工夫点を具体的に考えることができた。

・フィッシュボーンの頭の部分に歌い表したいことを、中骨と小骨の部分に歌い方を具体的に書くことで、曲の特徴にふさわしい表現についての考えを整理することができるようにする。

・いつでも音源を聴いたり、自分で歌ったりできるように、タブレットで教材曲を聴けるようにしておく。

・本時の学習で考えた歌唱表現の工夫を意識しながら歌うことで、自分が考えた歌唱表現を実際に歌って表現するという次時への意欲をもてるようにする。

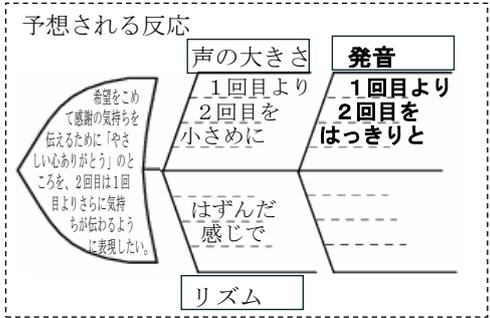
1 本時の課題を確認する。

いろいろ試して歌ってみて、表現を工夫しよう。

2 表現を工夫する。

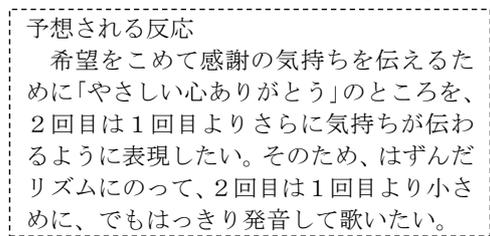
(1) 次の活動をそれぞれ行う。

- ・自分で歌い試し、録画を見直す。
- ・友達と歌唱表現を聴き合い、共感したりアドバイスし合ったりする。
- ・前時に聴いた歌唱表現も参考にして表現を工夫する。
- ・「曲について自分なりに考えたこと」や、「歌い表したいこと」について新たな気付きがあれば、考え直し、前時のワークシートに追記する。



(2) 多様な歌唱表現を聴き、さらに歌い試したり、考え直したりする。

(3) 「どのように表現を工夫するか」について、自分の考えをまとめる。



3 本時の振り返りを行う。

何を工夫するか考えることと、それをどう生かすかを考えた。友達の意見を聞いて考えることができた。

・表現したい内容は同じでも表現の仕方はいくつかあることを教師が歌って示し、児童の思考を促す。

②技：自分の考えに合った歌唱表現に必要な技能を身に付けようとしているかを見取る。つまりきが見られる児童には、児童の考えを基にいくつかの歌い方を提案し、一緒に歌ってみるなど、個別に支援する。【観察】

・思考の過程が可視化できるようにするため、追加や変更した場合には、青色で書き込むように促す。

・呼吸や発音の仕方、自然で無理のない響きのある歌い方を試してみるよう促す。

思②：【記述、観察】

・本時の学習でどのようなことを基に歌唱表現の工夫を考えたかを振り返り、思考の過程を振り返るようにする。

6

目標：思いや意図に合った表現を工夫するために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌う。

1 本時の課題を確認する。

どんな歌い方をすれば、曲に合った歌い方になるかな。

2 前回までの学習でとった動画を見直し、自分の表現のポイントについて考える。

3 ペアでワークシートを交換し、互いの歌唱表現で歌う。

4 グループで互いの歌唱表現を聴き合い、聴くポイントに沿ってよいところ、素晴らしいところを伝え合う。
・よいところや素晴らしいところを見つけ、ふせんを書いて互いに伝える。

聴くときのポイント

- ・それぞれが考えた「歌い方の工夫」「表現のポイント」を意識して聴く。
- ・できているかできていないかではなく、表現の工夫について、すごいと思ったことや真似したいことなどを見つける。

5 歌唱表現について振り返り、題材のまとめをする。

(1) 友達からの付箋のメッセージを見ながら自分の歌唱表現を聴いたり、友達の歌唱表現を聴いたりして、気付いたことをメモしておく。

(2) 題材全体の学習を振り返り、まとめをする。

歌詞と音楽から曲をよく知り、表現しようとしていることを考えて、歌い方を工夫すれば、曲に合った歌い方になる。

6 題材全体を振り返りながら、「グッデー グッバイ」を全体で歌う。

◎

- ・互いのワークシートを見て分からない部分について質問し合ったり、自分が考えた歌唱表現で友達が歌う様子を見たりして、さらに歌唱表現の工夫について深く考えられるようにする。

◎技：【観察、演奏】

- ・歌唱表現の工夫を意識して聴くため、聴くときの観点を示す。

- ・友達からのメッセージを確認しながら自分の動画を見直すことで、どのようなことが聴き手に伝わったかを感じ取れるようにする。

- ・友達の歌唱表現や友達の意見から気付いたことや題材を通して学んだことを振り返ることで、曲を捉えて表現に生かすことのよさを実感できるようにする。

◎

◎態：【観察、発言、記述】